

スイカ（早熟）

品種		月	1	2	3	4	5	6	7
早熟	祭ばやし	無加温	○~~~~▲~~~~◎————×————//						
	777								
	富士光HF		○~~~~▲~~~~◎————×————//						
	綺王マックスKE								
		主な作業	播種	接木	定植	交配	収穫		

「祭ばやし777」

草勢はやや強い。果皮色は濃緑色で、果形も極めて安定している。

糖度は極めて高く安定しており、シャリ感に優れる。

技術体系

1 作型の特徴

この作型は育苗期～収穫までを基本的に無加温で栽培するのと言い、生育前半はトンネルにより保温する。播種は1月、交配が3～4月になる作型となり、交配期以降はスイカにとって好適な気象条件となる。

2 適応地域

平坦全域

3 栽培条件

排水が良好な有効土層の深い畑地帯が適する。スイカは最も光量を必要とする果菜類であり、極力日陰とならない地形の圃場を選定する。

4 施設装備

トンネル：12～15尺トンネル

5 経営目標

- (1)収 量 3.9t / 10a
※ 半促成栽培から推定
- (2)投下労働時間 300 時間 / 10a
- (3)所得率 60 %
- (4)経営規模 50a
(家族)労力2人の場合)

栽培技術

1 品種と特性

生育前半が低温期であり、保温が必要であるが、交配期以降は、日射量が増える季節であるため、低温伸長性に優れる品種より、果実肥大性があり、空洞果や果肉の崩れが少ない良食味品種を選定する。

2 育 苗

(1) 播種期

1月上旬～2月上旬

(2) 播種量

800 粒 / 10a 当り

(3) 育苗期間

1月上旬播種(12cm 鉢の場合)約 53 日

2月上旬播種(12cm 鉢の場合)約 42 日

3 定植準備

(1) 土壌消毒

半促成の項を参照。

(2) 排水対策

トンネル周囲だけでなく、圃場の周囲にも排水溝を設け、滞水しないようにする。

4 施肥

施肥量 (kg / 10a)			
施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	18	16	8
追肥	生育状況で判断する。		

注(1) 完熟堆肥 2ト / 10a 施用する

(2) 果菜類の連作地では土壌分析を行って、施肥量を決定する。

(3) 火山灰土壌では磷酸施肥量を増やす。

5 定 植

(1) 定植時期

2月下旬～3月中旬

(2)栽植様式		※ 3 本仕立て	
	株 間	10a 当り 株数	備 考
3.6m	50 ～ 60 cm	450 ～ 550	大型トンネル
3.0m	50 ～ 6 cm	500 ～ 600	中型トンネル

6 保温対策

2 重トンネルとする。

7 定植から生育初期の管理

定植は晴れた日に行い、定植後 1 週間程度はトンネルを密閉して活着促進を図る。ただし、トンネル内の温度は 38℃ 以上にしない。キャップ使用は定植後 7 日以内とする。

8 交配期の管理

着果節位は 18 節以降とし、子房の形が良い雌花に交配する。

ミツバチを交配 2 日前にトンネルの外に置く。交配前の殺虫剤の散布に注意する。

降雨が続き、ミツバチが飛ばないようにであれば手で交配する。

9 摘果・着果表示

半促成の項と同じ

10 整 枝

3 本仕立ての 1 果穫りとし、強整枝はしない。

11 玉直し

収穫 10 日前までに3回の玉直しをおこなう。